

何のための洗礼ですか

マルコ1:4~11 / 李正雨師

今日は2024年の最初の主日です。日本では、新年になると年賀状を送る風習がありますよね。韓国では、新年になるとお祝いの言葉を交わす風習があります。残念ながら、私は皆様に年賀状を送ることができなかったので、韓国の風習にしたがってお祝いの言葉を伝えるため、聖書のあちこちを探してみました。そして年明けにふさわしい聖書の言葉を見つけました。コリントの信徒への手紙二5章17節の言葉です。「キリストと結ばれる人はだれでも、新しく創造された者なのです。古いものは過ぎ去り、新しいものが生じた。」誰でもイエス様と結ばれている人は、新しく創造された人です。ですから、クリスチャンは過去のこと、肉のことに縛られて生きていません。信仰によって新しい者になったからです。イエス様が与えてくださる新しい気持ち、新しい信仰で新年を迎えられる皆様になりますように願います。

今日の福音書は、洗礼についての言葉です。そして私は、この洗礼の言葉と新年には、共通点があると思います。まさに「始まり」ということです。新年が新しい年の始まりであれば、洗礼というものは信仰生活の始まりです。もちろん違うところもありますよね。新年は毎年私たちを訪れていますが、洗礼は毎年受けていないということです。その代わりに、私たちは毎週聖餐式を行っています。聖餐式を通して私たちが受けた洗礼を覚え、罪の赦しと救いの約束を黙想することができます。ですから、聖餐式のとき、皆様が受けられた洗礼と当時の心得を必ず覚えてください。聖餐式を通して、洗礼の喜びと新しさを享受することができるようになるでしょう。

今日の福音書は、洗礼者ヨハネの洗礼から始まります。4節によると、洗礼者ヨハネは人々に悔い改めの洗礼を宣べ伝えているということがわかります。そして5節には、多くのユダヤ人とエルサレムの人々が罪を告白し、洗礼者ヨハネから洗礼を受けたと書いてあります。ところが、この洗礼というものは、ユダヤ人にとっては馴染みのないものでした。当時の洗礼というものは、ユダヤ人を対象としたものではありませんでした。他の宗教を持っている人々、異邦人などがユダヤ教に改宗するために受けたものが洗礼でした。そのため、生まれながらユダヤ教徒であった彼らは、洗礼を受ける必要はありませんでした。その代わりに、彼らは清めの儀式というものを行いました。清めの儀式は、宗教的または信仰的な清めを維持するためのものでした。しかし、洗礼者ヨハネの洗礼は、ユダヤ人に向けられたものでした。ここには確かな意味があったと思います。そして、その意味を洗礼者ヨハネと一部の受洗者は、違う意味で受け入れていたと思います。

当時のユダヤ人たちは、洗礼者ヨハネの洗礼を特別な清めの儀式くらいに理解していた可能性が高いです。清めの儀式は、汚れるものから清めるために行うものです。ですから、自分たちの罪などから清めるために、洗礼者ヨハネから洗礼を受けたのだと思います。しかし、洗礼者ヨハネは、自分が行っていることを洗礼と言っており、自分はメシアの道を準備する人だとも言っています。この観点から見ると、洗礼者ヨハネは、既存のユダヤ教を他の宗教と同じく見ているようです。他の宗教からユダヤ教に改宗するためには、洗礼が必要であるように、メシアを受け入れるためには、または正しいユダヤ人になるためには、洗礼が必要だと考えるのです。それほど、清めの儀式ではなく洗礼が必要なほど、当時のユダヤ教は、腐敗して変質した宗教でした。それで、洗礼者ヨハネは、ユダヤ人に向けて悔い改めの洗礼を受けることを宣べ伝えたと思います。そして、あるユダヤ人は、この意味に同意して洗礼を受け、あるユダヤ人は、この洗礼を特別な清めの儀式として理解し、受けたでしょう。

また、今日の福音書8節で洗礼者ヨハネは、自分は水で洗礼を受けるが、メシアは聖霊で洗礼を受けると言っています。マタイによる福音書では、メシアが聖霊と火で洗礼を受けると記録しています。ユダヤ人の文化では、火はきれいにする、清めることを意味します。水の洗礼と聖霊、火の洗礼。多くの人は、この2つの洗礼

の違いについて疑問を抱いていると思います。ここにはいくつかの解釈がありますが、私はこれを悔い改めと浄化の違いだと思います。洗礼者ヨハネの洗礼の目的は、悔い改めのためでした。メシアを受け入れるために、人々は悔い改めなければなりませんでした。そして悔い改めた人々に、メシアは霊的な清めと神の霊を与えてくださるのです。彼らが正しい神の民として生きることができるよう、彼らが神の国に入ることができるようです。それで、洗礼者ヨハネは、メシアがお授けになる聖霊の洗礼について話したのです。そして当時とは違って、イエス様の御名によって洗礼を受けた私たちには、聖霊が与えられました。今、聖霊は皆様と共におられ、皆様は聖霊の導きに導かれています。聖霊の洗礼だとしても、特別なものが与えられるわけではありません。御言葉通りに生きるために努力すること、天国に望みを置くために努力すること。このようなことが聖霊が皆様を導いておられるという証拠です。皆様と共におられる聖霊は、皆様にイエス様の言葉の前に導きます。この世で信徒として生きようとしてくださいます。そしてこれらすべてのことを通して、皆様に天の国に導かれるでしょう。

今日の福音書9～11節では、イエス様の洗礼について書かれています。ところが、この洗礼は、先に申し上げた洗礼とは全く違う感じを持っています。悔い改めの洗礼や浄化のための洗礼とは違います。そして、イエス様の洗礼で起こったことは、イエス様の洗礼が一般的な洗礼とは違うということを示していると思います。イエス様の洗礼で示されたことは、いろいろな意味を持っていると思います。特に天が裂けたということは、大きな意味があります。イエス様が洗礼を受けられて水から上がって来るとき、最初に起こったしるしは、天が裂けたことでした。「裂ける」とは、ギリシャ語で「スキゾ(schizo)」という言葉です。そしてこの言葉は、キリスト教の信仰の重要な瞬間にもう一度使われます。マルコによる福音書15章37-38節です。「イエスは大声を出して息を引き取られた。すると、神殿の垂れ幕が上から下まで真っ二つに裂けた。」

イエス様が洗礼を受けられたときには、天が裂けました。そして息を引き取られたときには、神殿の垂れ幕が裂けました。これは何を表していると思いますか。私はこれが神と私たちを隔てる幕が裂けたのだと思います。人は、神様から創造されましたが、罪によって神との関係が隔てられるようになりました。この問題を解決するために、律法といけにえが人々に与えられましたが、むしろこれらがもう一つの幕になってしまいました。ところが、イエス様の洗礼と死を通して、その幕が裂けました。神と人間の間を隔てているすべての幕がイエス様によって裂かれたのです。だから私たちは、イエス様を通して救われることになったのです。そしてイエス様に霊が鳩のように臨み、天から神様の声が聞こえました。これは、イエス様の洗礼がご自分のためのものではなく、他人のためのものであること、人々の救いのためのものであることを示していると思います。

それで、私はイエス様の御名によって洗礼を受けるというのは、自分のためのものだけではないと思います。この世の人々のために天と神殿の垂れ幕を裂いたイエス様のように生きるということでしょう。つまり隣人と神をつなぐ人として生きるのです。イエス様のように隣人を愛する人として生きるのです。隣人のために自分を犠牲にする人として生きるのです。これが洗礼を受けた人々の姿勢だと思います。そして、このような人々を通してこの世の幕は、一つずつ裂かれるでしょう。神様と人々の間の幕が裂かれ、人と人々の間の幕が裂かれるのです。洗礼を受けた人々によって、この世は変わることになるのです。これが2024年度の最初の主日、私たちに与えられた神様の言葉です。この言葉が今年一年、私たちを導いてくださるように。自分の洗礼を覚えて、聖餐を行っている私たちを通して、イエス様の愛と犠牲が隣人に伝えられますように。年明けから起こった災害によって、被害を受け、家族を失った方々に神様の慰めがありますように、主の名によって祈ります。アーメン